



LAMPIRAN

プラスチックのゴミで育てられた私

Seli Inayati

皆さん、こんにちは。セリと申します。どうぞよろしく申し上げます。

「ゴミ」と聞いたら、皆さんはどんなイメージをお持ちですか。要らないもの、汚いものだというイメージでしょうか。私は、ゴミは確かに要らないもの、汚いものだと思って、ゴミとは一切^{いっさいかか}関わりたくないと思っていました。しかし、そのようなイメージはあるきっかけで変わり、ゴミは私の人生の中でかけがえのないものだと思うようになりました。父の仕事はプラスチックのゴミを集めることです。色々なところからプラスチックを集めて、分別して、そして^{きれい}綺麗にしてからリサイクルセンターに持って行きます。父は自分の仕事に誇いを持って、^{まじめ}真面目に働いています。この仕事で父は私と四人兄弟を育ててきました。ゴミは要らないもの、汚いものだというイメージが^{じょうしき}常識ですが、父にとっては、ゴミは輝くダイヤモンドのようです。

しかし、そのような父の仕事が、私は大嫌いでした「なんで汚いゴミを集めるの？友達が知ったらどうする？恥ずかしいよ。」と父に言ったことがあります。また、私が中学生のときのある日、父は学校に迎えに来てくれました。しかし、学校の門の前で待っていた私は、ピックアップトラックを運転している父を遠くから見たら、すぐに学校の中に戻って、別の門から学校を出ました。後ろにプラスチックのゴミが山ほどあって、汚いピックアップトラックで父が迎え

に来ると思っていませんでした。「嫌だ。乗りたくない。友達に見られたら恥ずかしい。」と、父を置き去りにして逃げました。

父は、私が父の仕事が嫌がっているの知っていますが、一度怒ったことがありません。「いつかきっとお前も分かるよ。」とシンプルな言葉で言って、いつものように毎日真面目に働いています。そんなある日、大雨で川の水が溢れていました。水が家に入ってきたら困るので、父はゴミから大きいプラスチックの袋を取って、そこに砂を入れて、川の周辺にその砂が入ったプラスチックで壁を作りました。近所の人々が、一生懸命プラスチックにすなを入れる父を見て、皆手伝いに来たので、壁が早くできました。父のおかげで、また、プラスチックのゴミのおかげで洪水を防ぐことができました。村の人々も喜んで、父を尊敬するようになりました。そのときから、私にとって父はヒーローになりました。

それがきっかけで、父の仕事に対するイメージが変わりました。そのときから私は父の仕事を手伝うようになりました。プラスチックのゴミを分別して、締認にして、一緒にピックアップトラックに乗って、リサイクルセンターに持って行きます。父の仕事を手伝っているときに、父にゴミについて色々教えてもらいました。ゴミの種類は色々ありますが、プラスチックは特にリサイクルせずに捨てたら、地球に大きな被害をもたらすので、リサイクルして、再利用するのが一番だと父は言っていました。プラスチックは生活に欠かせないものな

ので、たくさん使われていますが、要らなくなったときは気軽に捨てる人が多い

のが現状です。だから、プラスチックのゴミは毎日大量に捨てられています。

しかし、残念ながら父のようにプラスチックのゴミに目を向けている人は少ないです。しかも、プラスチックのゴミを集める仕事は、インドネシアの社会にと

っては、汚くて、いい仕事とは認められていないようです。私も前はそのような考え方を持っていました。しかし、今は、父の仕事がどれほど大切かと気付

きました。父はかぞくのためにお金を稼ぐ一方、他人のために、それから地球を守るためにも役に立って、いい仕事を持っているんだと思うようになりました。

「もうピックアップトラックに乗っても恥ずかしくないよ。」と思うようになりました。

今私は大学生になりました。父のおかげで今も生活に困らない私は、中学生のときにピックアップトラックで迎えに来た父を置き去りして逃げたときのことを思い出したら、胸が痛みます。父がどれほど傷ついたかと気づきました。しかし、今の私は前と違って、父の仕事にプライドを持って、正々堂々と手伝っています。ゴミはどう見てもゴミですが、リサイクルしたら生活に役立つこともあるので、決して全て悪いものとは限りません。また、努力を見ないで人を見下したことはいけないことだと、父の仕事から学ぶことができました。私はこれからも父の仕事を応援します。

以上です。ご静聴どうもありがとうございました。

日本語を通して人の力になれる

リキスギアント

おはようございます。私はリキスギアントと申します。本日は「日本語を通して人の力になれる」についてお話しします。

私は日本語の勉強を通して、「力と書いてリキと読む」もう一人の私と出会いました。そして、人を励まし自らも成長するという自分の目的を見つけ、今も実践しています。しかし、実は昔の私が今の私とずいぶん違っていました。

高校の時三年間、ずっと部屋に閉じこもっていました。あのころの私は家に帰ってからずっと部屋でごろごろしている以外やることはありませんでした。自分の将来に関して、何も夢を持たず、物事に対して常にやる気が出なくて、時間を無駄にすごしてしまいました。ある日、シンガポールから帰ってきた姉がお土産をくれました。それは日本のお寿司でした。テレビでよく見ましたが、初めて実際にお寿司を食べてみました。本当に美味しかったです。お寿司を食べた後、あまりの美味しさに体が反応して、全くやる気のない私にもなぜかいいアイデアが思い浮かびました。やっと世の中でやりたいことが見つかったのです。私は料理するのが好きなので、インドネシアの特徴的な味付けを用いたフュージョン日本料理を作ろうと決めました。3年間閉じこもっていた私が、前に一歩進んではじめて外に出ようとしたきっかけは、なんとお寿司でした。

私は日本の料理を知るにはまず日本語からだと考え、大学で日本文学科に入ることにしました。しかし、バンドンに行くのは少し不安で怖い感じもしま

した。バンドンは私の地元^{じもと}に比べると、文化も異^{こと}なれば、天気も違うからです。

そこで、私は少し真剣^{しんけん}に考えてみました。夢を追ったり、いい大学に入るのは簡単ではありません。その時、一番大切なのは夢を目指そうとする強い思いなのだと自分に言いきかせました。

ですが、それからがまだ長い道のりでした。大学に入ってから、日本料理はもちろん、色々な勉強をしました。この4年の間に、時々後輩が私のところに来て、一緒に日本語を話したり料理を作ったりしました。いつの間にか後輩に教える立場になりました。今まで人に教えた経験がなかったせいか、心配になったり、必要な材料^{ざいりょう}を用意^{ようい}するのを忘れたり、勉強も上手く手伝えなかったりして、失敗することも多々^たありました。それを防ぐ方法^{ふせ}が当時の私にはまだ分からなかった^たので、悔しい思いしかありませんでした。その後、友達に相談した時に、ちょっと安心しました。その友達によると、恐怖^{きょうふ}とは目先に起こりえる失敗を気にすることで出てくる気持ちだということです。「人間は自分の未来をコントロールできないのだ」と受け入れて、例え失敗をしても気にしすぎないほうがいいです。完璧^{かんぺき}を目指さなくてもいいです。それに気付いて以来、私は前より自信を持って、後輩の勉強を手伝い、少しずつ彼らを励^{はげ}ますことが出来るようになりました。結果として、後輩たちは成績^{せいせき}が良くなったし、日本人の前でもどんどん上手に話せるようになりました。それだけではなく、日本へ留学することができた後輩もいたし、自分の問題^こを乗り越えることができた後輩もいました。

ところで、最初にすでに申しましたが私の名前はリキです。大学で漢字を学んだときに、自分の名前の意味を調べてみる機会がありました。訓読みで「力」、音読みで「リキ」と読むこの漢字がパワーやエネルギーという意味であることを知りました。それを見つけた瞬間、両親がどうして私にこの名前をつけたか運命を感じました。この名前をつけた理由を聞いた時に父が「何気なくただ名前を選んで付けただけで、何の意味もない」と答えました。その答えにこそ運命を感じたのです。私がこの世に生きているのは、きっと自分のためだけではなく、ほかの人に力を貸すためなのだと確信しました。私は、卒業するまで名前どおりに誰かの力になれるような人になりたいです。これから何かを目指そうとする後輩たちの強い意思を引き出せるように、彼らを励ましていこうと思います。

全てはまず一歩踏み出すことから始まりました。「こういう自分でも必要としてくれる人がいるのだ」とこの4年間で気づきました。皆さんも、何か自分の専門を通して人の力になってみませんか。それは本当に素晴らしいことだと思います。ぜひ一緒に周りの人を励ましていきましょう。ご清聴ありがとうございます。

おおぜい まえ じぶん いけん しゅちょう の
大勢の前で自分の意見や主張を述べること

むじょう
無常

ノヴィエプルワンテイ

皆さん、お早うございます。私はノフィと申します。

今回私は、日本語の「無常」・・・という言葉について話したいと思います。

無常、無常、。。。皆さんはこの「無常」という言葉を知っていますか？

「無常」の「無」という漢字の訓読みは「ない」。

「今時間が無い」とか、「今月はお金が無い」のように使います。「無常」の

「常」という漢字の訓読みは「つね」です。

「つね」は「いつも」とか「そのまま」とほとんど同じ意味です。

そうすると、「無常」とは、〔「いつも」が「無い」〕とか、〔「そのまま」が「無い」〕という意味になるかもしれません。

ネットで調べると、「無常」とは「この世の全てのものは続かない、という事。

日本人の美意識の特徴の一つ」と、書いてありました。何だか、よく分からない説明です。

私が、この「無常」という言葉を初めて知ったのは、日本語会話の勉強会で、その日の勉強のテーマは「色々な物語」でした。私は先生に、「先生、日本でよく知られている物語を教えてください！」と聞きました。すると、先生は、次の物語を読みました。

1. ぎおんしょうじゃの/かねのこえ しぎょうむじょうの/ひびきあり。

2. さらそうじゅの / はなのいろ じょうしゃ / ひっすいの / ことわりを /
あらわす
3. おごれるひとも / ひさしからず ただ / はるのよの / ゆめのごとし / よ
るのの / めのごとし
4. たけきものも / ついには / ほろこびぬ ひとえに / かぜのまえの / ちりに / お
なじ

皆さん、この言葉分かりますか???

とても、難しいと思います。私も初めて聞いた時、まったく分かりませんでした。

先生の説明で、この物語が、700年以上も前に書かれた「^{へいけものがたり}平家物語」というタイトルである事。そして、この物語のテーマの1つが、「無常」である事、等が分かりました。無常、無常、無常。。。。「この世の全ての物は続かない。。。日本人の^{びいしき}美意識の^{とくちょう}特徴の一つ」やっぱり、よく分からない言葉です。

それでは皆さん、「無常」という言葉について一緒に考えてみましょう！今、こ

こには、^{きれい}綺麗な^{じよせい}女性や、ハンサムな^{たくさん}男性が沢山いますね。でも皆さん、30年後どうなりますか？50年後はどうなりますか？はい、皆おじいさん、おばあさんになってしまいます。

では、100年後はどうですか？皆さんまだ生きていきますか？もう生きていないと思います。私たち人間の命。。。それは「いつまで続かない」、つまり「無常」です。

また、最新のスマホも、立派な家も、^{こうきゅう}^{くるま}高級な車も、いつかは^{みなこわ}皆壊れてしまったり、^な無くなってしまいます。やはり「^{むじょう}無常」です。

では次に、私たち人間の「心」はどうでしょうか？

5年前、私には^{すてき}^{こいびと}素敵な恋人がいました。彼はいつも私に「^{のふい}ノフィちゃんは^{かわい}可愛いね！^{きれい}綺麗だね！、^{しょうらいぜったい}将来絶対に^{けっこん}結婚しようね！」と言ってくれました。

でも、ある日から、彼からの連絡が無くなりました。しばらくすると、ある日彼の友達から、^{いなか}彼が^{じもと}田舎に^{じょせい}帰って、^{けっこん}地元の女性と結婚した、^{はなし}という話を^き聞きました。私^{わたし}は^{しょっく}ショックでした。私^{わたし}は^{おこ}怒りました。「^{のふい}ノフィちゃん、^{しょうらいぜったい}将来絶対に^{けっこん}結婚しようね、！」と、何度も何度も言ったじゃない!!!彼はうそつきだ、うそつき、うそつき！……………。

あれから5年が過ぎました。今なら分かります。彼は「うそつき」というより、彼の心が変わってしまったのだと思います。

では、私の心はどうでしょうか？

今、私は、彼と結婚できなくて、本当に良かったと思います。私の心も変わってしまいました。

私たち人間の心、それはいつまでも続かない。。。つまり「無常」です。

ある日、勉強会で、私は先生に「先生、無常というのは、とてもネガティブな言葉だと思いますが、どう思いますか？」と聞きました。すると、先生は「ノフィさん、私たちの人生は未来事が分からないから、面白いかもしれませんね・・・」と答えました。

私は、先生が何を言いたいのか、分かりませんでした。私は、先生の言葉の意味を何度も考えました。毎日毎日、考えました。.

「人の命、全ての物、人の心・・・、それらはいつまでも続かない・・・
未来の事は誰にも分からない・・・」

私は気付きました。

「私たち人間には、来年の事、来月の事、明日の事だって分からない。やっぱり全ては「無常」。だからこそ私たちは、今日一日を、そして今を一生懸命生きる事が出来るに違いない！。悔いのないよう、生きなきゃいけない」そう私は思いました。

そう考えると、「無常」という言葉はは、そんなにネガティブな言葉ではないと思います。

日本語には、無常以外にも沢山の面白い言葉があると思います。そうした言葉について調べたり、考えたり、勉強していけば、日本人の心や考え方について深く理解できるようになると思います。

そうすれば、日本人とのコミュニケーションをもっと上手に取る事が出来ると思います。

だから、私はこれからも、日々、日本語の勉強を続けていきたい、そう思いました。

私の弁論は以上です。ご清聴ありがとうございました。



夢をつかむ^ふ踏み台としての努力

Gede Sutirta

皆さん、こんにちは。私はスティルタと申します。本日は努力についてお話ししたいと思います。どうぞよろしくお願^{いた}い致します。皆さん、苦しいことに直^{ちよくめん}面したことがありますか？それはどんなことですか？私は小学6年生のときに両親^なが亡くなって以来、叔父^{おじ}に^{そだ}育てられました。貧^{まず}しかだったので、よく友達にいじめられました。ある日友達が私のボロボロの靴^{くつ}を見て笑いました。私はとても悔^{くや}しくて、この人生は不平等だと思^{おも}って、泣きたいほどでした。親がいる友達^{うらや}を羨^{あや}ましく思^{おも}いました。欲^ほしいものがあれば親に言って買^かってもらえますが、私なら買^かってもらえるどころか、聞^きいてくれる親^{おや}さえいません。

.そのとき両親がいなくても自分の努力で欲^ほしいものを手^てに入れる、と自分^{ちか}に誓^{ちか}いました。お小遣^{こづか}いを稼^{かせ}ぐために毎日近所^{にわそうじ}の家で庭掃除^{にわそうじ}をしました。学校から帰ると、ペットボトル^{あつ}を集^{あつ}めて売^うりました。それを三ヶ月^{げつづ}続けて、やっと新^{あたら}しい靴^{くつ}が買^かえました。初めて自分の努力が実^まって、と

でも嬉^{うれ}しかったです。それをきっかけに、勉強ももっと頑張^{ねむ}って、自分のことを笑^{みかえ}った友達を見返^{おじ}したいと思うようになりました。家では夕方まで叔父の仕事を手伝^{ねむ}うため夜は眠^{おじ}くなるので、毎朝早起^{おじ}きして勉強したり、学校では休^{きゅうけい}憩時間に図書室で本を読^{おじ}んだり、時間を上手^{おじ}く使う工夫^{おじ}をしました。中学生になってからは、クラスの中で成績^{せいせき}では負けなくなり、友達にもあまりいじめられないようになりました。

高校では日本語^{じゆぎょう}の授業もありました。二年生のとき、初めて日本人と日本語で話^{きんちよう}す機会^{おじ}がありましたが、とても緊張^{おじ}して「こんにちは」とだけしか言^{おじ}えませんでした。でもその人は、にっこりして「こんにちは、日本語が上手^{おじ}ですね」と言^{おじ}ってくれました。そのときから日本語に興味^{おじ}がわいて、卒業したら大学で日本語を勉強^{おじ}したいと思い始めました。でもこれ以上叔父に学費^{おじ}を出^{おじ}してもら^{おじ}うことはできないので、奨学金^{しょうがくきん}で進学^{しんがく}するための情報^{おじ}も調^{おじ}べました。その結果^{おじ}、今^{おじ}、奨学金^{しょうがくきん}をもら^{おじ}って大学^{だいがく}で日本語^{おじ}を勉強^{おじ}しています。

日本語^{おじ}学科^{おじ}に進学^{しんがく}ができてとてもよかったです。大学^{だいがく}で学^{おじ}んだ日本^{おじ}の文化^{ぶんか}や社会^{しゃかい}、有名^{ゆうめい}な日本人^{にほんじん}の話^{はなし}から大切^{たいせつ}なことが学^{おじ}べました。その中^{なか}でも一番^{いちばん}心に残^{おじ}っているのは「天^{てん}は人^{ひと}の上^{うへ}に人^{ひと}をつく^{つく}らず人^{ひと}の下^{した}に人^{ひと}をつく^{つく}

らず」という福澤諭吉さんの名言です。その言葉を聞いて、人間は本当は

皆平等にチャンスを持っていて、努力さえすれば、貧乏かお金持ちかに

関わらずだれでも夢をつかめるのだと思いました。それから、福澤さんの

ことをもっと知りたいと思ったので、インターネットなどで調べました。

福澤さんは武士の家庭に生まれましたが、一才半頃に父親が亡くなって

生活が大変になりました。そのため、小さい頃から刀細工や障子のほりか

えなどをして母親を支えていたそうです。

福澤さんについての記事を読んで、両親を亡くし、貧しくて、

苦勞していた自分の子供の頃を思い出しました。私も今までの自分を振

り返してみると、苦しい状況のおかげで、我慢することや頑張ることが

できたと思います。福澤さんは父親が亡くなってから苦しい状況にあつ

ても、それを乗り越えて学問を続けました。そして色々な本を書いたり、

慶應義塾を創設したりして、若い人達を勉強させ、彼らの能力や知識を

向上させるために力を尽くしました。福澤さんはいつも若者たちに「人

は生まれたときの身分に関係なく、努力することが大切だ」と教えていた

そうです。

ふくざわ い かた おし じんせい ふびょうどう おも
福澤さんの生き方とその教えが、「人生は不平等だ」と思っていた

わたし き も か 〴〵ょうしん びんぼう
私の気持ちを変えてくれました。"両親がいないことや貧乏であること、

ともだち うら ふ だい ゆめ みち
友達のいじめなどを恨むのではなく、それを踏み台として、夢をつかむ道

すす おも
に進まなくてははいけないと思いました。

わたし だいがく そつぎょう にほん かいしゃ つと にほんじん はたら かた
私は大学を卒業したら日本の会社に勤めて、日本人の働き方や

けいえい しかた まな ご く けいけん じぶん かいしゃ
経営の仕方などを学び、その後、国へ帰ってからその経験で自分の会社を

ひら ゆめ どりよく ひつよう
開きたいという夢があります。そのためにはこれからもずっと努力が必要

ともだち みかえ じぶん ゆめ
です。それはもう友達を見返すためではなく、自分の夢をつかむための

どりよく しょうらい じぶん え ちしき けいけん まわ ひと
努力です。そして、将来は自分が得た知識や経験を周りの人のために

やくだ おも
役立てられるようにしたいと思います。

これで私のスピーチを終わります。ありがとうございました。